※令和４年度以降入学生用

学校番号	103

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	光村図書「書Ⅰ」　（光村図書出版）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

文房四宝の正しい扱い方を知り名跡に触れることで審美眼を養い感性を高めてもらいたい。
正しい理論を基に実技を重ね、自ら考え表現する能力を育んでもらいたいと思います。
それぞれの古典を臨書し、古典の特徴、用筆、運筆、字形について理解してもらいます。

2　学習の到達目標

・書道の幅広い活動を通して、書に関して見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資料・能力を育成する。
・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値の理解を深める。
・生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につける。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えることができる。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組んでいる。書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	漢字の書	1．書写から書道へ ○用具用材について 文房四宝(墨・筆・紙・硯) ○書写で学んできたこと ○姿勢・筆法	a:書道の学習に必要な道具について正しい取り扱いを理解し、丁寧に取り扱う態度を身につける。 b:漢字の成立、書体の変遷を理解する。 c:書道についての興味を持ち、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。	観察 提出作品 ワークシート	観察 ワークシート	観察 提出作品
	漢字の書	2．楷書 ○楷書について ・楷書の特徴について ・古典の臨書 『九成宮醴泉銘』 『孔子廟堂碑』 『雁塔聖教序』 『願氏家廟堂』 『牛橛造像記』 『鄭羲下碑』 ●半紙2字 ●半紙4字	a:楷書の古典を比較し、それぞれの文字から受ける印象について考える。それぞれの特徴を表現する言葉を選び、説明する。 b:楷書の古典の特徴を理解し、臨書する意義について理解する。 c:楷書の用筆、運筆、字形について理解し、練習する。	観察 提出作品 ワークシート	観察 提出作品 ワークシート	観察 ワークシート
2学期	漢字の書	3．行書 ○行書について ・行書の特徴について ・古典の臨書 『蘭亭序』 『風信帖』 ●半紙2字 ●半紙4字 ●細字	a:行書の古典の特徴を理解し、臨書する意義について理解する。 b:教材に真跡と拓本があることに注意しながら行書の学習を深める。古典の名称の美について理解し、用筆、運筆、字形の取り方などについて注意しながら臨書する。 c:行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。	観察 提出作品 ワークシート	観察 提出作品 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書	4.　草書 ○草書について ・草書の特徴について ・古典の臨書 『真草千字文』 ●半紙2字 ●半紙4字	a:草書が成立する過程や特徴について理解する。草書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。 b:「真草千字文」の臨書を通して、草書の用筆、運筆、字形の取り方などについて活用する。 c:行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。	観察 提出作品 ワークシート	観察 提出作品	観察 提出作品 ワークシート
		5.　隷書 ○隷書について ・隷書の特徴について ・古典の臨書 『曹全碑』 ●半紙2字 ●半紙4字	a:隷書が成立する過程や特徴について理解する。隷書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 b:古典の臨書を通して、隷書の用筆、運筆、字形の取り方などについて活用する。 c:行書の用筆、運筆、字形の取り方について理解し、練習する。	観察 提出作品 ワークシート	観察 提出作品	観察 提出作品 ワークシート
		6.　篆書 ○篆書について ・篆書の特徴について ・古典の臨書 ・篆刻 『泰山刻石』 ●半紙2字 ●篆刻2字	a:篆書は成立する過程や特徴について理解する。篆書の古典を鑑賞し、その美について理解する。 b:古典の臨書を通して、篆書の用筆、運筆、字形の取り方などについて活用する。 篆刻 a：落款の意味や種類について理解する。篆書の用具・用材について理解する。 b：創作の手順に従い、学習した篆書の古典の特徴や技法を活かして創作する。 c：創作作品を鑑賞し、感想を述べ合う。鑑賞カードを元にお互いの作品を見せ合う。	観察 提出作品 ワークシート	観察 提出作品	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

３学期	仮名の書	１．いろは歌 ・平仮名の単体 ・変体仮名 ・仮名の筆使い ・連綿 ・散らし書き ・創作 『高野切第三種』 『蓬莱切』 ・平安時代の代表的な古筆を臨書する意義について理解する。 ※「人物と時代」なども活用する。	a:仮名が成立する過程や種類などについて理解する。古筆の用筆、運筆、字形の取り方を学ぶ。 b:文字を正しく書く学習活動からの起筆の穂先の向きによってさまざまな線の表現ができることを理解する。 b：仮名の用具・用材の特徴を理解し、技能を高める。 c:仮名の基本的な線、運筆について理解し練習する。 平仮名・変体仮名の特徴について理解し練習する。 連綿について理解し、練習する。	観察 提出作品 ワークシート	観察 提出作品	観察 提出作品
		２．仮名創作 ・散らし書き ・創作	b:創作の手順に従い、仮名の書で学んだ古筆の特徴や技法を活かして、行を構成し、創作し、創作し、相互評価をする。 c:古筆の形態について理解し、表現することができる。		観察 提出作品	観察 ワークシート
漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書	漢字仮名交じりの書 ○表現の工夫 ・古筆を活かした表現 ・線による表現 ・用具・用材による表現 ・紙面構成 ○言葉と書の調和 ○鑑賞	b:近現代の作品を鑑賞し、感性を高める。 c:創作の手順に従い、表現の工夫で学んだ技法を活かして、意図に基づいて創作し、相互評価をする。		観察 提出作品	観察 提出作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度